

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)	◎	コンビニ（経営者）	・暑い時期になると、飲料や食品等を買求める客の来店が増えてくる。
	◎	高級レストラン（経営者）	・今まで控えていた宴会等も増えてくるとみている。
	◎	観光型旅館（経営者）	・Withコロナが浸透してきている。新規感染者が出ていても、感染対策をしながら皆、旅行をするようになってきている。最近はおさめの団体も動き出ししており、まだ新型コロナウイルス発生以前にまでは届かないが、かなり近づいていくのではないかとみている。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・企業関係の一般宴会が、徐々に増えてくるとみている。この2年間、宴会のキャンセルが毎週あったが、前週～今週までは1件もない。徐々に新型コロナウイルス感染症に対する考え方が変わり、企業関係が一般宴会を開くようになっていく。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・相談があつてから、数日～1か月くらいで、葬儀となることが多い。今月の相談が多かった分、葬儀も引き続き多くなるのではないかと。
	○	商店街（代表者）	・例年より早めの梅雨明けと新型コロナウイルス新規感染者数の減少で、マインドが変わってきている。ここに全国旅行支援が加われば、更に期待ができる。
	○	一般小売店〔家電〕（経営者）	・この先まだしばらくは猛暑が続くようなので、夏物商材の動きは非常に良くなる。ただし、商材不足が出ているので、その辺りが心配である。
	○	百貨店（店長）	・都内のように大きくとはいえないが、地方でも徐々に、高齢者を含め顧客が戻ってきていると実感できている。
	○	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、参議院議員選挙、夏のイベント、秋祭りと、新型コロナウイルス前の状態に戻りつつある。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新車納期の長期化は変わらないものの、半年以上前の受注分の納車が徐々に増えてきている。点検整備需要も合わせて売上増加が見込まれる。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・更なる物価上昇の懸念は強いものの、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたこともあり、外出機会や遠出が増えるため、やや良くなる。
	○	一般レストラン（経営者）	・まだまだだとは思いますが、いろいろな行動制限が緩和されるようになってきている。
	○	スナック（経営者）	・全国的に新型コロナウイルスもかなり落ち着いてきて、客も以前よりは出てきてくれるようになってきている。ただし、新型コロナウイルス禍の間に肝心のスタッフが抜けてしまっていて、人数をなかなか補填できず、たまに接客対応ができない状況がある。まずそちらを頑張らないことには、今後の売上にはなかなかつながらない。確実に客は戻ってきていると肌で感じており、期待している。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・ブロック割により、個人客の利用増加が続いており、今後の全国旅行支援の話題もあるため、予約は順調に伸びている。法人、団体利用も、件数は増加傾向にあるものの、新型コロナウイルス禍前の利用人数には及ばないことや原材料費の高騰について懸念している。しかし、現在の予約状況からすれば確実に良い方向に向かっている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・来客数が伸びている。
	○	タクシー運転手	・昼の動きがやや回復しており、夜も飲みに出掛ける人が多少増えたような気がする。このまま、前年比107～108%と、1割強くらいで増えることを期待している。
	○	観光名所（職員）	・食材や原材料等の値上がりはつらいが、売上は戻ってきている。国内観光客の増加と、少数ではあるがインバウンドのツアーも入り始めている。
	○	遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるものの、感染対策を徹底し万全な受入体制を整え、積極的に集客施策や情報発信を実施することで、多くの客の来園を期待する。
	○	設計事務所（職員）	・大規模な計画の依頼も増えてきているため、計画が進みだせば、忙しくなってくる。
□	商店街（代表者）	・盛り上がる要素が全くない。	

□	商店街（代表者）	・昔のように、街に出て買物を楽しむというような気持ちはなく、どうしても必要な物だけを買うという形なので、しばらくは現状が続く。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・猛暑が続く、季節商材の動きが現状のまま続いていけば、必要な消費も増えて全体的に物が動き始める。ただし、物価がどこまで上昇していくのか不透明な部分が多く、先の見えないところである。
□	コンビニ（経営者）	・いろいろな商材価格が上がっているのに、やや売上の伸びは厳しいが、段々と安い物は買い求める傾向が出てきているので、それほど状況は悪化しないと考えている。
□	コンビニ（店長）	・市場の動きは大分、活発になってきた気はするが、当地は天候の関係以外に余り大きな変化はない気がしている。今は新型コロナウイルスの感染状況よりも、天候等の影響の方が大きいのではないかと。今後も気温が高くなっていく予報なので、暑くなれば飲料や細かい商材が中心となるが、固形物は売れなくなるので、総じて余り変わらない。
□	衣料品専門店（経営者）	・衣食住のなかで、食住の優先順位は高いが、衣に関する関心は低く、補助金等もない。
□	家電量販店（店長）	・半導体不足による商材供給の低迷が考えられる。
□	その他専門店〔酒〕（店長）	・今月は非常に販売が伸びている。飲食店は動きが良く、ホテルからもいろいろな話があり、動いている実感はある。2～3か月後も現状のような推移でいくのではないかと。その先のことになると分からない。
□	一般レストラン（経営者）	・今と同じような傾向で、急激に良くなるとは思えない。猛暑続きがどこまで影響するか次第で、余り期待はできなさそうである。プラスチック材料としては、当市独自の景気対策で飲食業向けのキャンペーンが始まることであり、期待を寄せている。
□	スナック（経営者）	・イベントによる集客で、6月までは良かったが、イベントも終了し、どうなるかは読めない。宴会はまだ余り動き出していないし、ランチタイムも在宅勤務になった人たちが戻らず落ち込んだままなので、まだしばらくは時間が掛かりそうである。
□	スナック（経営者）	・本当に良くなる要素が1つも見つからない。これ以上悪くならないようにという願いを込めて、変わらないとしている。
□	通信会社（経営者）	・相変わらず、物価上昇に加え高温などの影響もあり、より一層の節約志向が高まれば、他社への移行が進む可能性がある。
□	通信会社（社員）	・インターネット需要はほぼ飽和状態で、新サービスの創造がないと、売上が頭打ちになる可能性がある。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況、世界情勢、物価や光熱費の上昇等、マイナスの要因はたくさんあるが、夏休みになって、にぎわいが戻ってくることを願っている。
□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・戦争も長期化しそうだということで、原油だけではなく、ガス等、いろいろな物価が相変わらず高く、非常に困窮している。しばらくこの状況が続くのかと思うと本当に困る。
▲	一般小売店〔薬〕（経営者）	・売上がやや減少しており、今後も減少傾向とみている。
▲	百貨店（営業担当）	・ガソリンを始めとして、このところ食料品等の値上がりも続いている。特に、電気代は既にかかなり上がっており、物価高騰で消費が抑えられているような気がする。
▲	スーパー（経営者）	・価格上昇に個人消費がどこまで耐えられるか、疑問である。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されて、ゴールデンウィークなどには人も少し動くようになったが、物価が軒並み上がってきているので、客のお金の使い方がシビアになる。
▲	コンビニ（経営者）	・盛夏を迎え、やや良くなると思うが、電気代高騰で家計の節約が進んで、下降傾向となるのではないかと。
▲	旅行代理店（副支店長）	・天候不順や世界情勢、円安による影響が、今後、旅行にも大きく出てくるのではないかと。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、企業の旅行等は自粛されている。先に行くほど個人にも影響が出ている。現在、夏休みに向けた旅行受注は増加傾向だが、9月以降の動きは鈍く、財布のひもを固く締め直している。景気が下方に向かう要因が多い。

	▲	ゴルフ場（経営者）	・当ゴルフ場は標高の高いコースとはいえ、猛暑が続き、平日は高齢のプレーヤーが多いので、熱中症対策を強化している。また、ゴルフが健康寿命を延ばすことにつながるというキャンペーンのダイレクトメールを続けている。単価については、売店への食材納入価格上昇分を売価に転嫁している。取扱商材を増やしたこともあり、客単価は上昇したものの、来場者数は前年比98%となっている。
	▲	ゴルフ場（経営者）	・世界情勢を考慮して、状況が悪くなることを前提にビジネスを進めていく必要性を感じている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・人手不足や燃料費の高騰等から経営環境は厳しさを増しており、赤字転落の懸念もある。
	×	*	*
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体需要で、当社は好調である。
	○	食料品製造業（営業統括）	・これから夏の猛暑に向かって他の飲料に左右されるものの、売上は3年前の実績に近付いている。また、諸物価の値上がり影響して、利益は大幅に落ち込むとみている。
	○	食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、経済が回り始めれば、やや良くなるのではないかと。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・生産量が徐々に増加している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・夏休み向けの体験ワークショップの展開をしており、来店者への期待感はある。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・原材料価格の上昇や物流費の高止まり、円安による輸入材の上昇等、コスト上昇分の転嫁が進んでいない。
	□	建設業（経営者）	・受注状況が改善したら、将来の利益も考えてみたい。
	□	金融業（調査担当）	・製造業は生産調整の影響があるものの、需要は底堅く推移する見込みである。非製造業では、仕入価格上昇分の価格転嫁がどの程度進むかが鍵となる。
	□	金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルス問題に加え、ウクライナ戦争が長期化していることで、景気は影響を受けている。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・景気回復の要因が見当たらない。7月には参議院議員選挙もあるが、大きく期待できるような政策は示されていない。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・ルートセールスは全くといってよいほど売れていない。在庫商材がかなり減ってきているが、材料価格高騰で、新作を作るに作れない。将来を考えて、メーカーや問屋は数を売るB to BからB to Cへの志向を強めている。
	×	食料品製造業（製造担当）	・円安が進み、輸入品価格が上がる。大豆等は国産品と輸入品が同等の価格になりつつある。そうなると、国産品を買う大手が出てくるので国産品の価格が上がり、ますます零細企業は厳しくなる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・部品の入荷や受注が確定しないため、先行きが見えない。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いて、国内外からの往来が増えることにより、観光産業を中心として景気が上向くのではないかと。
	○	職業安定所（職員）	・求人は増加傾向にある。新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着きを見せるなか、宿泊、サービス業の求人も前年同月比で増加に転じていることから、労働市場は好転している。ロシアのウクライナ侵攻により、原油価格や物価高騰の影響が懸念される。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・賞与もなく給与も上がらずにいるためか、消費に回るところか借金の相談もある。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなってきたと思うが、円安や物価高の動向は不透明なところがあるので、状況が良くなるのか悪くなるのか、少し様子を見る必要がある。
	□	職業安定所（職員）	・世界的な半導体不足により、商材が入手しにくくなっている。また、小麦等の原材料費上昇で、生活用品が軒並み値上げになってきている。
	▲	—	—
×	—	—	